

■採択年度（タイプ・申請区分）※該当の口を■にしてください。／大学名

【ASEAN 対象】☐H23（A－Ⅱ）☒H24（Ⅰ）☐H24（Ⅱ）【AIMS】☐H25／東京医科歯科大学

■プログラム名

東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム

――以下、ベトナム・ラオス・カンボジア・ミャンマーに特化した内容を主にご記載ください。――

■相手大学・機関（国名も記載ください）

ホーチミン医科薬科大学（ベトナム）

■主な活動内容（概要）

1. ベトナム歯科研修プログラム（派遣プログラム）：本学歯学部口腔保健学科学生をホーチミン医科薬科大学に短期派遣して、歯科研修プログラムを実施した。派遣前には歯科英語、ベトナム語会話、危機管理、臨床研修のための事前トレーニングなどの事前研修を行った。現地では大学病院での臨床実習などの実践的な研修、ベトナムの歯科保健状況などについての講義、現地学校における歯科保健指導見学、日本人学校での健康教育実施などの研修を行った。相互の文化や歴史理解のための、学生による異文化交流イベントも開催した。研修後は、派遣学生による報告会を本学で開催、テレビ会議を通じてホーチミン医科薬科大学にも同時中継し、研修の成果を双方で共有した。
2. TMDU 歯科研修プログラム（受入プログラム）：本学にホーチミン医科薬科大学学生をインドネシアおよびタイの学生と同時期に受け入れ、病院見学、臨床・基礎研究室での見学と実習、歯科技術コンテスト、歯科関連企業見学、文化交流、シンポジウム開催などを行い、日本を含めた4カ国の学生交流を行った。歯科技術コンテストではお互いに競合い、同じ歯科学生として相互に刺激を受け、将来の歯科医療ネットワーク構築に向けた歯科学生間のネットワーク強化につながった。
3. 国際セミナー開催：
ホーチミン医科薬科大学において、本学教員を講師とした学術セミナーを2回開催した。セミナーはテレビ会議を通じて本学にも同時中継し、教員間の学術交流を図った。

■プログラムの現状・課題、成功事例

（単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等について、できるだけ具体的に記載ください）

現状・課題

学生派遣時期：ホーチミン医科薬科大学は広島大学歯学部学生を本学学生とは異なる時期に受け入れ、研修プログラムを提供している。受け入れ時期が異なるため、歯科研修プログラムを2度にわたって提供することによる受け入れ側の負担が大きい。

成功事例

派遣プログラム：両国教員の指導下で、ベトナム人患者対象に臨床実習を行い、実践的な研修を行うことができた。本学での受け入れプログラムに参加したベトナム人学生が中心となり、研修中の本学学生に付添い、臨床実習の手助け、相互に教えあう様子が見られた。将来の医療者として協力、連携の大切さを学ぶ機会となった。